

IOLマスター

Optical Biometry Advanced Technology

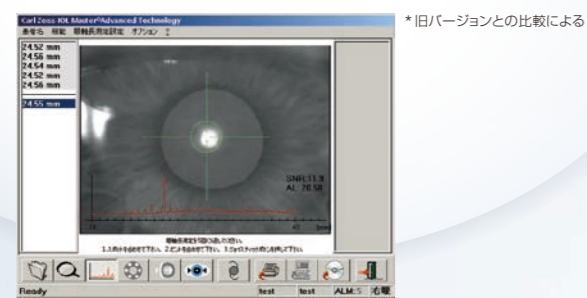


We make it visible.

“All in ONE” for IOL Calculation

眼軸長測定

- ◆ 非接触・非侵襲で患者への負担も軽減
- ◆ 高い測定精度・再現性
- ◆ 視軸を測定するため、多焦点 IOL の処方にも安心
- ◆ 測定率が更にアップ*



*旧バージョンとの比較による

角膜曲率半径測定

- ◆ IOL 度数計算へ自動反映
- ◆ 直感的な、わかりやすい測定ガイド
検者に優しい測定フォーカスの誘導
- ◆ 1回のジョイスティックボタン操作で3回の測定
3測定の平均値が使用されます。



K1: 47.01 D
@ 151°
K2: 47.20 D
@ 61°
D: -0.19 D
@ 151°



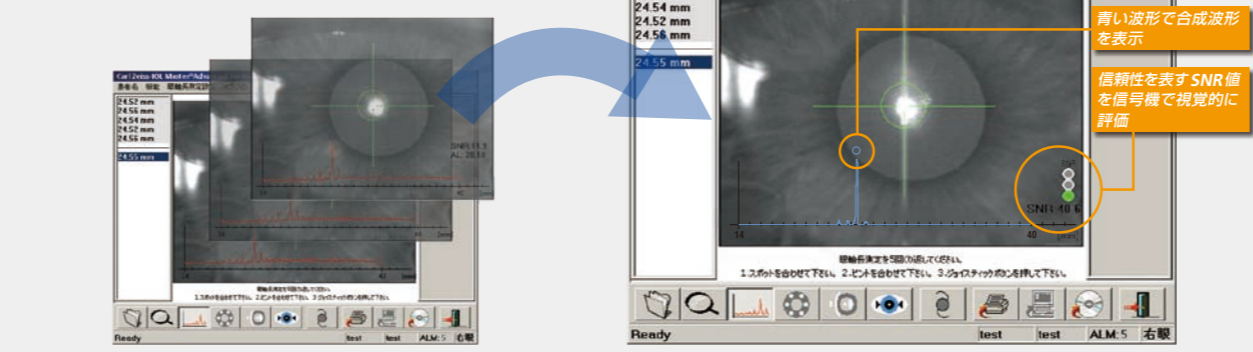
より高いQOV (Quality of Vision) をめざして

—— 単なる術前検査にとどまることなく、さらなる精度を追求します。

IOL マスターは、眼軸長、角膜曲率半径、前房深度などの測定から眼内レンズ度数計算、眼内レンズ定数の最適化を全てこの1台で完結します。現在、白内障手術は新たな転換期を迎えようとしており、付加価値の高い非球面眼内レンズ、多焦点眼内レンズなどの登場で、精度の高い眼軸長測定器械が求められるようになってきました。IOL マスターは、視軸測定、3種類の LASIK 術後の IOL 度数計算、パーソナル A 定数の作成、短眼軸眼や長眼軸眼に対する各計算式による IOL 度数の比較などを豊富に取り揃えております。以前に増して術前検査の精度に対する期待度が高まっている今こそ、世界のサージャンが信頼している眼内レンズ度数計算トータルシステム — IOL マスター — の時代です。

■ 眼軸長測定

合成波形を構築し、混濁などによるノイズを減少、網膜色素上皮からのピークをより鋭敏に捉え、測定率を確保します。



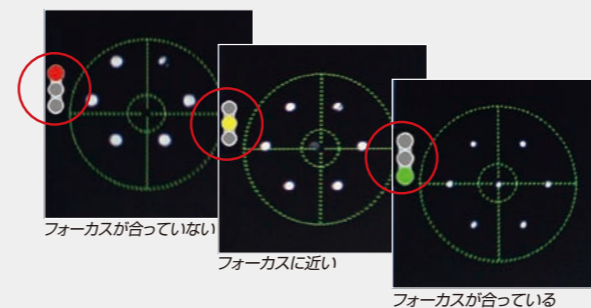
たとえば各回がエラーでも合成波形が網膜色素上皮を捉えたピークのある波形であれば採用可能
*色の評価は慎重に行ってください。

■ 角膜曲率半径測定



正しいアライメントがなされるまで測定が行われないアシスト機能。また、1回ジョイスティックを押すと自動で3回測定を行います。より安定した平均測定値を得ることが可能で、アライメントによる測定誤差を最小限にします。

*角膜疾患などで測定困難な場合はマニュアル測定も可能です。

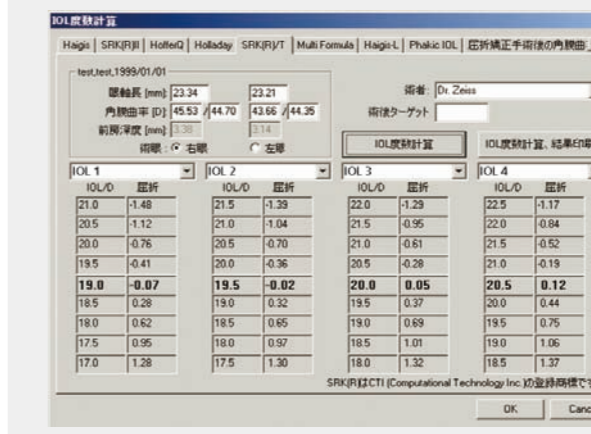


■ 前房深度測定



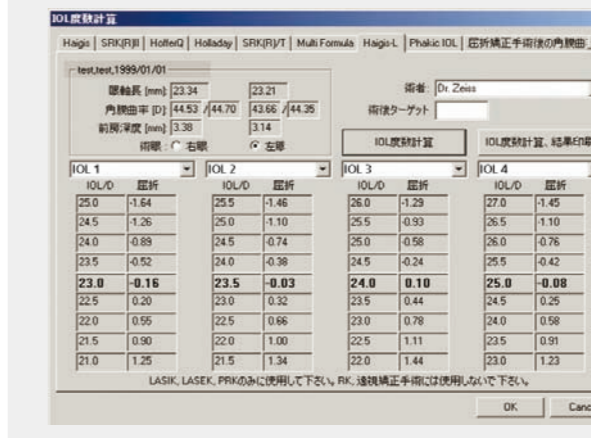
Haigis 式、Holladay 式に必要な前房深度の測定を簡単に行うことができます。正しいアライメントを導くアシスト機能を搭載しており、測定誤差を最小限にし、安定した測定値が得られます。ジョイスティックを1回押すと、自動的に5回の測定を行います。

■ 眼内レンズ度数計算



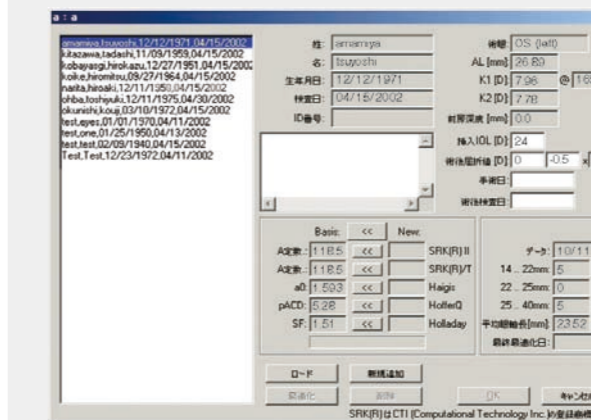
各測定値が自動的に度数計算画面に表示されるため、手入力する必要がなく、ヒューマンエラーを排除することが可能です。また、一度に4種類までの眼内レンズの度数計算を行うことができます。また、短眼軸眼や長眼軸眼などの計算式による差異が出やすい症例で、複数の IOL 計算式を用いての IOL 度数比較を簡単に行うことができます。

■ 屈折矯正手術後の眼内レンズ度数計算



屈折矯正手術後の白内障手術適用時期を迎えつつあります。IOL マスターは、その時代の流れに対応するため、Clinical History Method、Contact Lens Method による屈折矯正手術後の角膜屈折力を予測する機能と、新たに屈折矯正手術前データを必要としない Haigis-L 式を搭載しています。
*眼内レンズ度数の選択は十分検討の上、行ってください。

■ 眼内レンズ定数の最適化

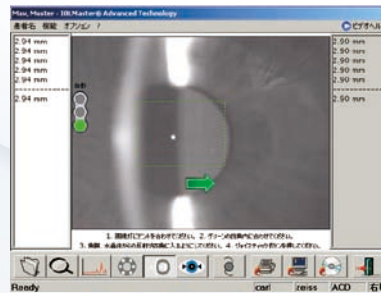


IOL マスターは、超音波 A モードの眼軸長測定よりもやや長い測定値が得られます。また角膜屈折力では従来のケラトメーターよりも、角膜中心部を測定しており、IOL マスター専用の眼内レンズ定数 (A 定数) を使用することで、より正確な眼内レンズ度数計算を行うことができます。また、術者に合わせた A 定数を簡単に作成でき、より正確な IOL 度数を求めることが可能です。

— IOL 度数計算のトータルソリューションシステム —

前房深度測定

- ◆ 最適な眼内レンズ位置を決めるのに有用
- ◆ Haigis 式、Haigis-L 式にそのまま使用可能
- ◆ 測定の最適な位置を信号機（赤、黄、緑）で誘導
- ◆ 測りやすいスリット方式を採用
- ◆ 1 回のジョイスティックボタン操作で 5 回の測定



IOL 度数計算

◆ 実績ある A 定数の採用

世界中のドクターの IOLMaster 臨床データから求められた A 定数を ULIB サイトからダウンロード可能です。

◆ 豊富な計算式

Haigis, SRK/T, SRK (R) II, Holladay, HofferQ, Haigis-L, Phakic IOL., 及び 屈折矯正術後の角膜曲率計算 (Clinical Method, Contact Method) が搭載。

◆ 術者ごとに A 定数の最適化が可能

術後データを基に術後結果を考慮した A 定数を術者ごとに作成できます。



テクニカルデータ

測定範囲

眼軸長	: 14.0~39.0mm
前房深度	: 1.5~6.5mm
角膜曲率半径	: 5.0~10.0mm

測定値表示の分解能

眼軸長	: 0.01mm
前房深度	: 0.01mm
角膜曲率半径	: 0.01mm

その他

IOL 計算式	: SRK II, SRK/T, Holladay, Hoffer Q, Haigis, Haigis-L
眼軸長測定原理	: 光干渉式
眼軸長測定光源	: 発光ダイオード
眼内レンズ定数の最適化	: 術後屈折データから算出可能
データ転送	: 本体からPCへのデータ転送が可能(オプション)* *Windows OS 機種に限ります。
本体サイズ	: 300(W)x 390(D)x 610(H)mm
本体重量	: 18kg
供給電源	: 100~240VA, 50~60Hz
消費電力	: 90VA(最大)



承認番号: 21400BZY00151000

詳しくは、下記のカールツァイスメディテック(株)各営業所、
または弊社器械製品取扱店へお問い合わせください。

カールツァイスメディテック株式会社

〒160-0003 東京都新宿区本塩町22番地	大阪営業所	〒564-0062大阪府吹田市垂水町3-35-22 Tel 06-6337-5464 Fax 06-6337-5477
Tel 03-3355-0331	名古屋営業所	〒465-0043名古屋市名東区宝が丘25 Tel 052-777-1411 Fax 052-777-1417
Fax 03-3358-7413	福岡営業所	〒810-0062福岡市中央区荒戸2-1-5 Tel 092-713-7821 Fax 092-711-0776
URL http://www.meditec.zeiss.co.jp	仙台営業所	〒980-0014仙台市青葉区本町1-12-7 Tel 022-224-5621 Fax 022-224-5626

- 本製品の仕様はお断りなしに変更させていただくことがあります。
- 本カタログ中の製品の色彩は印刷のため実物とは多少異なることがあります。